

じょうえつ

市議会 だより

2022 No.214

5月号

森がけぼし



■令和4年度一般会計予算など59議案を審議

「暮らしやすく、希望あふれるまち」・・・2

■ご参加ください！議会報告会・意見交換会・・・20

れるまち」

- 3月2日～4日(本会議) 市長による提案説明、総括質疑(7人) 先行議決議案の4常任委員会、採決(3件)
- 3月7日～16日(委員会) 4常任委員会の審査
- 3月18日～24日(本会議) 一般質問(26人)
- 3月24日(委員会) 追加議案の2常任委員会
- 3月28日(本会議) 討論(11人)、採決(56件) 議案と審議結果については9ページをご覧ください。

今定例会では、公明党、創風、政新クラブ、日本共産党議員団、みらい、久比岐野、会派に属さない議員(宮越馨議員)が総括質疑を行いました。

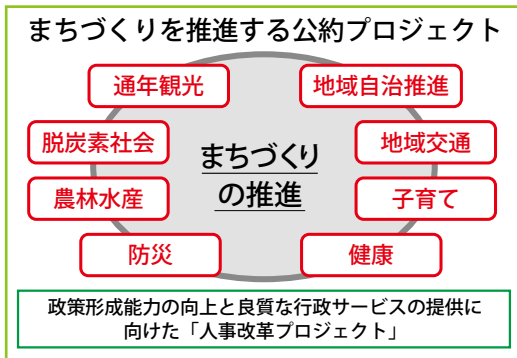
まちづくりを推進する公約プロジェクト
今後の市政運営はどう進むのか？

☀️市長が公約に掲げた8つの政策分野の施策と人事改革をプロジェクトとして位置付け、実行していくと説明がありました。

問／8つの公約プロジェクトと人事改革プロジェクトについて、目標の達成時期と取組の実施時期、スケジュールを聞きたい。

答／8つの公約プロジェクトは、令和4年度当初予算に計上した事業もあるが、現状把握や課題整理からスタートするもの等、一定の準備が必要なものもあり、具体的な内容やスケジュールの提示に至らなかった。今後は各プロジェクトの推進体制を整え、関係者や市民の皆さんと議論を深めながら、具体の事業とその進捗の見通しを整理し、

内容を公表していきたい。一方、人事改革プロジェクトは、令和4年度にプロジェクトチームを立ち上げ、改革の方針と取組内容を令和4年度末までに取りまとめ、組織改編は令和5年度から、人材育成等は令和5年度以降、できるものから実行に移していく予定である。



☀️「子育て全国一」を目指し、子育てしやすい社会づくりを推進すると説明がありました。

問／「子育てプロジェクト」において「子育て全国一」を指すとしていくが、何を指すとしていくのか。根拠とする指標や目指す具体的な数値目標等があったら、然と考えるがどうか。

答／保育料の更なる軽減や奨学金制度の充実等、社会経済情勢や子育て環境の変化に対応した「経済的支援」及び、病気の子どもへの通院支援や産後ケアの充実等、個々の家庭環境に寄り添った「人的支援」を強化するとともに、全ての子ども、子育てに関わる人が自分らしく暮らすことができ、環境づくりを推進し、

子育てプロジェクトで目指す「子育て全国一」の具体的な目標等は？

子育てしやすい社会づくりを進めることで、「子育て全国一」を目指していく。具体的な数値目標等は、「上越市子ども・子育て支援総合計画」における各種取組の成果指標、例えば、「出産や子育てがしやすいと感じる20代・30代の市民の割合」の目標値等と連動させる中で評価、検証を行っていく。



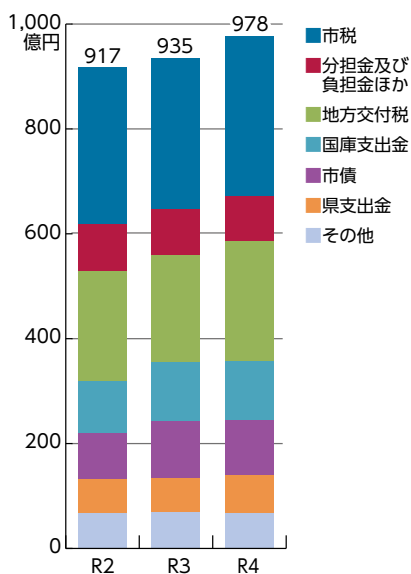
目指すまちの姿

「暮らしやすく、希望あふ

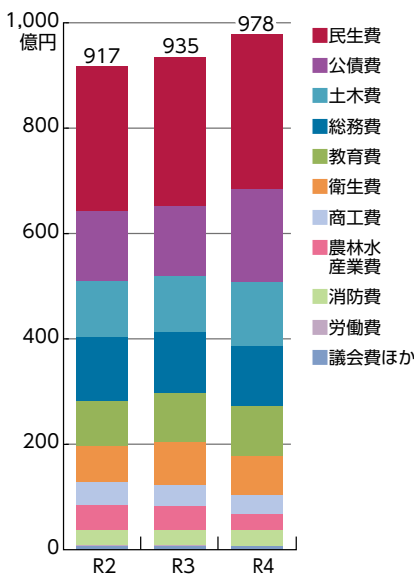
総括質疑は、市長から提案された議案に対して、案件の概要と疑問点を明らかにするために行われます。

■ 予算額（一般会計）の推移 ■

■ 歳入



■ 歳出



令和4年度の予算規模

上越市総合体育館等の大規模改修事業の完了などで普通建設事業費が減少する一方、第三セクター等改革推進債の借換えによる公債費や認定こども園施設型給付費などが増加し、前年度に比べ4.6%増となりました。

目指すまちの姿
市政運営の取組の視点は？

☀️ 市長が目指すまちの姿に掲げる「暮らしやすく、希望あふれるまち」の実現に向け、①生活の質の向上の最大化④復元力・再起力の強化⑤循環共生社会の構築の視点に基づき取組を進めるとの説明がありました。

問／5つの視点は、第7次総合計画の基本をなすものとなるのか。

答／5つの視点を含む市政運営の基本方向は、令和4年度に予定している第7次総合計画の基本構想や基本計画を策定する際の検討の基軸となるものであり、重要な構成要素となり得るものと考えている。総合計画の方向性や内容については、今後、総合計画審議会や議員をはじめとする市民の皆様と議論を重ねながら、取りまとめていく。

新潟県東京事務所へ職員を派遣する目的は？

☀️ 新潟県東京事務所へ職員1人を長期派遣する予算案が提案されました。

問／新潟県東京事務所に長期派遣研修を行うとしているが、派遣の目的について聞きたい。

答／首都圏における情報収集や情報発信、企業誘致などのノウハウを学び、中央省庁や関係機関、首都圏の大手企業、研究機関等との人的ネットワークの構築を進めるとともに、公約の東京事務所の設置に向けた調査・研究を兼ねて派遣したいと考えている。



総務

市政の運営方針や、財務、防災、総合事務所に
関することなど、広範な議案等を審査しています。

注目!

ふるさと納税 寄附金を増やすための 制度設計は?

- 上越市ふるさと上越応援基金条例の
制定について
- 令和4年度一般会計予算

上越市ふるさと上越応援基金条例

上越市を応援するために寄せられたふるさと納税制度による寄附金を活用し、寄附者の意向を踏まえた本市の地域振興及び諸課題の解決を図る事業などの財源に充てるため、基金を設置する条例案が提案されました。



寄附者に成果報告が送られます

問／ふるさと納税の寄附金を増やすために、上越市を応援したくなる取組が必要と考えるが、どのような制度設計を行うのか。

答／毎年度、寄附者に対して成果報告として小冊子を送付しており、リピート率の向上につなげている。今後はインターネットを通じた寄附者が増えるので、返礼品を通じた市のPRやお礼の気持ちを伝えるとともに、寄附金の使い道を引き続き伝えていきたい。

問／寄附者の意向を踏まえた事業の財源に充てることとしているが、市長が目指す地域独自予算に組み入れることもあり得るのか。

答／地域の特性をいかしたまちづくりという寄附項目を新たに加えており、寄附者が応援したいと考えている地域の事業の予算に組み入れることとなる。

問／項目別にふるさと基金の寄附を募っても、一つにまとめると予算執行手続が面倒になり、「第二の財政調整基金」になりかねないのではないか。

答／年度を超えた活用ができるのが基金の最大の利点であり、14の寄附項目ごとに残高を管理すること、むしろ明快で透明な運用ができる。

- 令和4年度一般会計予算

次期総合計画策定時に 地域計画を検討する予定は?

☀総合計画とは、市の最上位計画であり、これからの上越市のまちづくりの方向性を示すものです。現行の第6次総合計画が令和5年3月で満了することから、新たな計画の策定作業がスタートしています。

問／地域自治推進プロジェクトを進める中で、総合計画策定の際に地域計画を検討する予定はあるか。

答／地域計画を入れ込む考えはないが、自分たちの地域がどうあるべきか議論を展開してもらおうとはあり得る。



第6次総合計画

防災ラジオの放送 情報に応じた音量に

問／防災ラジオの通常放送に災害等の情報を割り込んで放送するための装置を令和4年度中に更新するとあるが、放送する情報に合わせて、大小の音量に調整できるようにならないか。

答／今回の工事は老朽化した割込装置を更新するものであり、大小の音量で発信、受信が可能になるものではない。



防災ラジオ

後期高齢者の医療費窓口負担割合が見直される影響は？

注目!

令和4年度後期高齢者医療特別会計予算

問／医療費の窓口負担割合が2割に引き上げられる対象はどの程度になるか。また、負担増に対する配慮はあるのか。

答／5、225人で、16・3%が対象となる見込みである。また、3年間は負担増加額を1か月3,000円までに抑える制度になっている。

医療費の窓口負担割合が変わります

令和4年9月30日まで	令和4年10月1日から
現役並み所得者 3割負担	現役並み所得者 3割負担
一般所得者等 1割負担	一定以上所得のある方 2割負担
住民税非課税世帯 1割負担	一般所得者等 1割負担
住民税非課税世帯 1割負担	住民税非課税世帯 1割負担

厚生

健康づくりや多種の福祉施策、環境保全など、市民に身近な議案等を審査しています。

令和3年度病院事業会計補正予算(第2号)

診療所の看護職員も処遇改善が必要では？

問／今回の処遇改善は国の基準により、上越地域医療センター病院の看護職員のみが対象で、同じ業務をしている診療所等には対象外だが、市で対象とするよう検討できないか。

答／国が救急等に対応している病院のスタッフのみを対象として、今後は補助金を受けられる範囲内での対応していきたい。

令和4年度一般会計予算

日常生活自立支援事業 更なる周知が必要では？

問／権利擁護事業の日常生活自立支援について、利用人数と周知の状況は。

答／平成30年度は75人、令和元年度は73人、令和2年度は72人が利用している。また、周知啓発として出前講座を実施しており、令和3年度は成年後見制度や相続等をテーマに9回開催している。

病児保育における送迎対応の課題は？

問／保育園等で体調不良となった児童を保護者に代わって迎えに行き、医療機関での受診や病児保育室での一時的な保育を行う取組を開始するところがあるが、課題はないのか。

答／実務的な部分を整理しているが、児童が長時間タクシーに乗ると負担が大きいところが課題と考えている。



農政建設

農林水産業に関する経済施策や道路の建設・管理、ガス・上下水道事業などインフラ整備に関する議案等を審査しています。

注目!

除雪オペレーター
高齢化に伴う対応と
担い手確保の取組は?

令和4年度一般会計予算

除雪オペレーターの担い手確保

除雪機械作業の有資格者を増やすため、市道の除雪オペレーターに従事を希望する満61歳未満の方に対し、資格取得に係る経費の一部を補助する予算案が提案されました。

除雪オペレーター人材確保推進事業補助金

補助対象となる資格	(1)大型特殊自動車免許 (2)運転技能講習
補助率	資格取得に要した経費の1/2 (1人につき5万円限度)



問 除雪オペレーターの高齢化に伴い、除雪機械作業の1人オペレーター化に向けた検証を行う必要があるのではないか。

答 将来的には1人オペレーターとする必要があるが、安全確認が十分担保されなければならぬ。除雪事業者のワーキンググループの中で検証していく一方で、担い手確保についても努力していきたい。

令和4年度水道事業会計予算

城山浄水場の大規模改修
今後の事業の進め方は?

問 老朽化が進む城山浄水場の大規模改修事業に着手する予算が提案されました。

答 城山浄水場大規模改修事業は、令和2年度の基本設計を参考にして詳細設計に入っていくのか。

答 設計・施工一括発注方式を採用し、入札の段階で仕様書に代わる要求水準書を作成するために基本設計を行った。受注者の提案に基づき詳細設計を行い工事を実施する。



昭和43年に竣工した城山浄水場

令和4年度一般会計予算

花立温泉ろばた館
施設存続の方向性は?

問 施設の管理、運営上の課題は何か。また、施設存続のための見通しやスケジュールを地域に示しているか。

答 誘客や施設の老朽化が課題である。修繕の必要性等は、地域に伝えているが、名立区地域協議会における議論を踏まえて今後、協議を進めていきたい。地域の活力を損なわず、どのように運営していけるのか、一緒に考えていきたい。



名立区にある温浴施設「ろばた館」

文教経

商工業、観光業などに関する経済施策や、小中学校に関する議案等を審査しています。

注目! 事業者の新たな取組を支援する補助金 これまでとの違いは?

令和3年度一般会計補正予算(第8号)



問/以前の中小企業者チャレンジ応援事業と、今回の中小企業者等イノベーション促進事業との違いは何か。
答/以前の事業は新型コロナウイルスに対して緊急的に行ったものだが、今回の中小企業者等イノベーション促進事業は、アフターコロナに向けて、経営指導員や専門家と相談しながら伴走的に支援を行うものである。

中小企業者等イノベーション促進事業

アフターコロナを見据え、変革意欲のある事業者が新たな取組を行う際に業種、手段にかかわらず柔軟に支援を行う補助金を創設する補正予算案が提案されました。

所管事務調査(直江津・小本航路維持と観光を中心とした広域連携について)

小木直江津航路の維持に向けた取組は?

関係機関が連携し、佐渡航路の維持確保・活性化に取り組むための協定を結ぶ旨の説明がありました。

問/協定締結に際し、佐渡汽船株式会社と締結した既存の合意書には、同社の財務・経営状況等を勘案して適用するよう留意とある。状況によって変わることもあると受け取れるがどう考えるか。
答/経営体が株式会社みちのりホールディングスに変わったとしても、小木直江津航路への内部支援は変わることがないと考えている。今後の経営改善の取組を確認しながら、必要に応じて支援を検討し、小木直江津航路を維持していきたい。

令和3年度一般会計補正予算(第9号)

タブレット端末破損時の修繕費用の負担は?

小中学校で運用しているタブレット端末の修繕料等が当初の見込みを下回るため、減額する補正予算案が提案されました。

問/タブレット端末等に破損があった場合、修繕に係る費用は保護者負担となるのか。
答/基本的には公費で対応する。個人の不注意等で壊れた状況があれば、保護者に相談をさせていただくケースも考えている。



令和4年度一般会計予算

老朽化した児童クラブの学校内へ移設の予定は?

老朽化している放課後児童クラブを学校外から学校内へ移設する予算案が提案されました。

問/どのような計画で移設を行う予定か。
答/可能なところから順次移設していくよう進めており、令和4年度は黒田小学校を予定している。令和5年度以降は、富岡、高志、諏訪、大和小学校を予定している。



黒田小学校 放課後児童クラブ

―賛成の立場で―

〈創風〉

市内事業者に対する補助金の創設など積極的かつ本腰を入れた「挑戦」の観点と、地域生活支援拠点の強化など「寄り添い」の観点で評価できる。しかしながら、各プロジェクトの進め方など市民の理解を得るには十分でないことから、これまでに以上に丁寧かつ果敢に取り組みことを希望する。

〈久比岐野〉

アフターコロナへの備えを大きく打ち出していることや、ふるさと納税制度を積極的に活用した地域産品の需要拡大等の取組を評価する。市民が豊かさを実感できる「暮らしやすく、希望あふれるまち」の実現に向け、市民や議会に対し、対話と納得を得ながら市をけん引するよう切に願う。

―反対の立場で―

〈日本共産党議員団〉

住宅リフォーム促進事業補助金や2歳児における保育料軽減対象の拡充など、市民の願いに応え、コロナ禍で困窮する暮らしを支える予算編成を評価する一方、学校給食の民間委託が続いていること、介護保険料が県内で最高レベルとなっていることなどから、4議案に反対する。

〈公明党〉

コロナ禍で苦しむ市民・事業者への経済的支援を待たないで計上したことや、当市の基幹産業である農業において新規就農者への支援や農林水産物等のマーケティング活動支援に予算を計上したこと等を評価する。今後も引き続き市内の経済状況を見定め、時宜を得た中小企業者への経済的支援を要望する。

〈みらい〉

8つの公約及びび人事改革プロジェクトについて、時代の変化と地域・市民の多様で複雑なニーズに対応し、柔軟にスピード感を持って政策形成を図るため、部局横断的に取り組む点を評価する。なお、令和4年度にプロジェクトの具体的な方針を示し、担当する職員が負担が過大にならないよう配慮を望む。

〈政新クラブ〉

市民の生活の質を高め、若者が帰ってきたくなくなるような「暮らしやすく、希望あふれるまち」の実現に向け、市政の多岐に渡る課題を克服すべく、分野ごとに果敢に取り組む姿勢を評価する。市の持続的発展のため、スピード感を持って政策を実行し、重要案件の目的を遂行することを心から願う。

請願の審査

請願とは、市民等が議会に対し、意見や要望を直接伝えるものです。

今定例会では、3件の請願が提出され、うち1件「上越市の子ども達の心身の健全な成長、発達のための教育活動を求め、それにかかわる多様な考え方や選択を尊重することを求める請願書」は継続審査となりました。詳しくは、右のQRコードからご覧ください。



老齢基礎年金等の抜本的な改善を求める請願

若者も高齢者も安心して老後を暮らせるように、老齢基礎年金等の支給額を改善すること。



「安心な生活を支えるよう、生活保護基準額以上の額を支給すべき」との意見があった一方、「若者に過度な負担を強いることにより年金制度が崩壊するなどのおそれがあるため、年金制度全体の見直しが必要」との意見があり、賛成少数で不採択となりました。

「最低賃金の改善と地域経済の回復にむけた」意見書の採択を求める請願書

地域経済の好循環を実現するために、地域別最低賃金の大幅引上げ、地域間格差を是正する全国一律制度の実現、中小企業への支援策の強化が求められることから、国に対して意見書を提出すること。



「コロナ禍で格差が広がっており、労働者が安心して働く環境が必要」との意見があった一方、「最低賃金の大幅引上げは経営者にとって人件費の増大となるため、雇用安定のためには他の施策も合わせて検討が必要」との意見があり、賛成少数で不採択となりました。

審議結果一覧

◎は全会一致、○は賛成多数、×は不採択

議案等 番号	件名	審議 結果	議案等 番号	件名	審議 結果
予算	1 令和4年度上越市一般会計予算	○	条例	31 上越市下水道事業の設置等に関する条例の一部改正について	◎
	2 国民健康保険特別会計予算	○		32 上越市立地域保育園条例の廃止について	◎
	3 診療所特別会計予算	◎		33 上越市シニアセンター条例の一部改正について	◎
	4 介護保険特別会計予算	○		34 上越市市民の森条例の一部改正について	◎
	5 後期高齢者医療特別会計予算	○		35 上越市安塚雪だるま高原条例の一部改正について	◎
	6 病院事業会計予算	◎		36 上越市吉川緑地等利用施設条例の廃止について	◎
	7 下水道事業会計予算	◎		37 上越市光ヶ原高原観光総合施設条例の廃止について	◎
	8 ガス事業会計予算	◎		38 字の変更について	◎
	9 水道事業会計予算	◎		39 工事請負契約の締結について	◎
	10 工業用水道事業会計予算	◎		40 工事施行協定の一部変更について	◎
	11 令和3年度上越市一般会計補正予算(第8号)	◎		41 指定管理者の指定について(市民いこいの家)	◎
	12 一般会計補正予算(第9号)	◎		42 〃 (清里生活支援ハウス)	◎
	13 国民健康保険特別会計補正予算(第4号)	◎		43 〃 (くわとり湯ったり村、ヨーデル金谷、ゆったりの家)	◎
	14 診療所特別会計補正予算(第2号)	◎		44 〃 (安塚雪だるま高原(キュービットパレिसキー場等3施設))	◎
	15 介護保険特別会計補正予算(第3号)	◎		45 〃 (うみてらす名立)	◎
	16 後期高齢者医療特別会計補正予算(第2号)	◎		46 〃 (吉川ゆったりの郷)	◎
	17 病院事業会計補正予算(第2号)	◎		47 〃 (牧場の里深山山荘)	◎
	18 下水道事業会計補正予算(第3号)	◎		48 〃 (柿崎マリンホテルハマナス)	◎
	19 下水道事業会計補正予算(第4号)	◎		49 〃 (大湯健康スポーツプラザ 鶴の浜人魚館)	◎
	20 ガス事業会計補正予算(第3号)	◎		50 〃 (吉川スカイトピア遊ランド)	◎
	21 水道事業会計補正予算(第4号)	◎		51 〃 (板倉保養センター)	◎
条例	22 上越市ふるさと上越応援基金条例の制定について	◎	52 〃 (ゑしんの里記念館)	◎	
	23 上越市個人情報保護条例の一部改正について	◎	53 令和3年度上越市一般会計補正予算(第10号)	◎	
	24 上越市地域情報通信基盤整備事業分担金徴収条例の一部改正について	◎	報告	1 専決処分した事件の承認について(令和3年度上越市一般会計補正予算(専第3号))	◎
	25 一般職の職員の給与に関する条例の一部改正について	◎		2 〃 (令和3年度上越市一般会計補正予算(専第4号))	◎
	26 職員の育児休業等に関する条例の一部改正について	◎		請願	1 高齢基礎年金等の抜本的な改善を求める請願
	27 上越市消防団員の定員、任免、給与、服務等に関する条例の一部改正について	◎	2 上越市の子ども達の心身の健全な成長、発達のための教育活動を求め、それにかかわる多様な考え方や選択を尊重することを求める請願書		継続審査
	28 上越市国民健康保険税条例の一部改正について	◎	3 「最低賃金の改善と地域経済の回復にむけた」意見書の採択を求める請願書		×
	29 上越市都市計画法施行条例の一部改正について	◎	同意	1 上越市副市長の選任について	◎
	30 上越市道路占用料等徴収条例の一部改正について	◎			

議員の賛否一覧

賛否が分かれるなどした上表の網かけの議案等、議員別に賛否等を公表します。

議案等 番号	議決 結果	合計		みらい							政新クラブ				久比岐野					創風			日本共産党 議員団		公明党		会派に 属しない議員										
		賛成	反対	高橋 浩輔	高山 ゆう子	中土井 かおる	宮川 大樹	本山 正人	石田 裕一	波多野 一夫	鈴木 めぐみ	牧田 正樹	丸山 章	小林 和孝	滝沢 一成	栗田 英明	こんとう 彰治	木南 和也	安田 佳世	ストラ ットン 恵美子	橋本 洋一	渡邊 隆	江口 修一	小山 ようこ	宮崎 朋子	池田 尚江	大島 洋一	武藤 正信	平良 木哲也	上野 公悦	橋爪 法一	山田 忠晴	杉田 勝典	宮越 馨	飯塚 義隆		
1	可決	26	3	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
2	可決	27	3	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
4	可決	27	3	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
5	可決	27	3	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
請願1	不採択	13	17	●	○	○	●	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
請願3	不採択	10	20	●	●	●	●	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

※ ○は賛成、●は反対、欠は欠席、棄は棄権。なお、議長(飯塚義隆)は採決には加わらない。

(9) 2022.5 じょうえつ市議会だより

総括質疑

委員会審査

討論・請願

審議結果

一般質問

ここが聞きたい!

一般質問



議員が市の行政全般にわたって、市長・教育長等の方針、見解、事実の説明、報告を求めるものです。

今定例会では26人が質問しました。

※本文は質問者が執筆したものを編集しました。

QRコードをスマートフォンやタブレットで読み取ると、議会ホームページにあるその議員の一般質問の動画が視聴できます。(※視聴の際のデータ通信料はご自身の負担となります)



高橋 浩輔(みらい)

謙信公没後450年、
生誕500年に向けて

問／謙信公の節目の年は上越市にとって千載一遇の好機である。様々な事業に取り組むための部局横断的なプロジェクトを立ち上げ、できる限り早期に着手すべきと考えるがどうか。

答／市としても謙信公没後450年、生誕500年といった節目を強く意識している。また、令和7年には謙信公祭が100回を迎える。地元の方々と団体と話し合いをしながら、段階的に進めていく。関係する担当課も議論を始めており、地元での協議の場も設けていきたい。

問／拠点施設として埋蔵文化財センターの利活用が考えられる。謙信公に関する資料や文化財を可能な限り集約し、「謙信公のことはここに来れば全て分かる」博物館的要素を持つ、学びを提供する場として整備すべきではないか。

答／謙信公に関するものを集めていくことは、必ずやらなければならないと考えている。展示する場も整備していかなければならない。

問／果たしてそれが現状の埋蔵文化財センターで可能なかどうか、考えを聞きたい。

答／埋蔵文化財センターは別の目的で造られた施設で、それを拠点とするよりはもう少し広げて、資料の展示はもとより、食の提供やお土産等も充実できるように、保存とは別の部分で施設を整備しなければならぬと考えている。財政面等、必要な議論を重ねながら進めていく。



丸山 章(政新クラブ)

地域独自予算の運営
地域協議会の関与は

問／地域独自予算要綱を各区に示すのはいつか。
答／地域自治推進プロジェクトを組織し、検討を進めていく。令和5年度予算案は、総合事務所やまちづくりセンターなどと相談しながら、事業提案に向けて議論を進める。

問／市の方針と反する予算提案でも認めるのか。
答／市の一体性の確保等と、地域の取組間に整合が図れない状況下では、予算化は困難である。
問／現在の地域活動支援事業に面積割を加え、当年度に余った予算は区の基金とする考えは。

答／予算規模や配分等を決める際は、地域自治区間に壁や差異を作らないよう慎重に検討する。
問／今後、地域協議会委員の負担、責任も大きくなる上、結果責任も想定される。責務に見合う一定程度の報酬(賃金)を支給すべきでないか。
答／地域自治の仕組みの強化の中で、委員の位置付けや報酬を検討する必要があると考える。

問／地域独自予算でハード事業も対象にするか。
答／ソフト事業効果を高めるため、施設の軽微な修繕類まで対象外にすることは考えていない。

問／地域に詳しい職員を育てるため、各区に採用枠を設けて採用試験を行うのか。また、専門性の高い職員の採用職種等はどうにするのか。
答／人事改革プロジェクトにおいて、地域に精通する職員の育成、職員の専門性向上のため、職員研修や人事異動の在り方の検討を進める。



上越産日本酒を
海外市場へ
杉田 勝典（公明党）



問／上越産日本酒の輸出施策に取り組みないか。
答／既に複数の酒造会社は海外へ輸出を行い、経営の柱の一つになっている。海外の通販サイトやオンライン商談会にもチャレンジしており、地理的表示GIの地域ブランドも確立も海外展開にいかせる。



県の「Jークレジット制度」を活用しては

問／温室効果ガス削減・吸収量分を売買できる県の「Jークレジット制度」を活用できないか。
答／県内の取組事例を調査・研究するとともに、森林整備事業者等に働きかけを行う。

DX分野における企業集積の可能性は

問／上越妙高駅前ローカル5Gラボ「JMDAWN」をいかした企業集積の可能性は。
答／東京から2時間という高い利便性や、最先端技術を有する施設の優位性をPRし、IT企業等の誘致を推進していく。また、若者や女性の多様な働く場確保にもつながると考える。

多子世帯への3人目以降の給食費の補助を

問／多子世帯の経済負担軽減のため、小中学生の子ども3人目以降の給食費を補助する考えは。
答／子育て世代における経済的負担の軽減の在り方などを市全体として検討していきたい。



高田城址公園陸上競技場西側スタンド新築は
こんどう 彰治（政新クラブ）



問／高田城址公園陸上競技場における西側スタンドを新築する考えはないか。

答／以前は東側に器具庫と大型スタンドを設置したが、陸上競技協会からの要望で会議室や器具庫が不足しているとの意見があり、必要性を調査中である。次期総合計画や財政計画など主要計画策定に合わせて検討する。

都市計画道路飯寺町線等の整備を

問／千葉県八街市の事故を受け、通学路の安全対策に意を用いるとしているが、未供用区間の整備の考えを聞きたい。

答／道路の老朽化対策や生活道路における様々なニーズを勘案し、八街市の事故なども踏まえ、引き続き検討を進めている。

問／寺町一丁目地内（市道表寺線）の通学路におけるマウントアップの不陸調整の検討は。

答／地元からの要望があれば道路整備計画として検討していきたい。

今冬の除雪の問題点は

問／通学路の除雪における苦情はあったのか。また、通学路の安全確保はどうか。

答／大きな苦情はなく、歩道除雪と車道拡幅除雪の2件について要望があった。学校や地域の要望を受け止め、登下校時の安全確保に努める。



佐渡島金山世界遺産登録への支援の取組は
橋本 洋一（久比岐野）



問／「佐渡島の金山」世界文化遺産登録に向け、市としてどのような支援の取組を行っているか。

答／新潟県民の悲願である世界文化遺産登録に向け、早期実現に向けた啓発活動やイベントでの署名活動、市役所木田庁舎における動画の放映、パネル展示を行ってきた。

世界遺産に登録された際には、交流人口の拡大が期待されることであり、小木直江津航路は関西や中部方面からの観光客を迎える西の玄関口として重要な役割を担うものと考えている。佐渡市をはじめ、妙高市、糸魚川市、柏崎市など近隣自治体とも広域に連携し、

当市が佐渡市への通過点とならないよう、上越地域の自然と気候風土、長い歴史の中で育まれてきた文化など地域資源をいかした魅力あるコンテンツづくりにより官民挙げて取り組んでいきたい。



佐渡金山の選鉱場



核兵器禁止条約を批准し、世界を平和に！



牧田 正樹 (政新クラブ)

問／核兵器禁止条約に唯一の被爆国である日本が参加していないが、市長の所見を聞きたい。

答／当市は、平成7年に非核平和友好都市を宣言した。宣言の趣旨と条約の趣旨は共通であり、全ての国が条約を批准することを願う。核兵器の廃絶と世界恒久平和の実現に取り組む。

新電力の導入で、電気代の節減を！

問／市施設の年間電力消費量と電気料金及び新電力の導入による経費削減の状況はどうか。

答／市施設全体における令和2年度の電気料金は、約14億5千万円となっている。新電力は13施設で導入しており、導入前より1割から3割程度の経費削減となっている。

問／電気事業法で電力の安定供給が義務付けられており、供給能力や停電時の配電車の心配などはいらないと考えるがどうか。

答／電力の供給が止まるとは思っていない。

問／新電力の導入で電気料金が3割安くなれば、4億円の節減となる。導入促進の考えはないか。

答／3割、4億円の節減ができるならば無視できない。できるだけ新電力を導入していきたい。

問／公共施設への太陽光パネルの設置方針は。

答／設置が可能な行政庁舎や学校などで調査を進めている。設置時期は、令和4年度に策定する地球温暖化対策実行計画の中で検討していく。



ひきこもりの人とその家族に向き合う社会へ



石田 裕一 (みらい)

問／8050問題や生活困窮者になる可能性があるひきこもりの方について、義務教育終了後の人数等をどのように把握しているのか。

答／令和4年1月までに相談のあった15歳以上の人数は122人である。令和2年度から地域包括支援センターに相談機能を加え、すこやかなくらし包括支援センターと連携を行っている。

問／ひきこもりの方の中で、障害者手帳を取得できないグレーゾーンの人をどう支援するか。また、社会へ一歩踏み出すための居場所づくり等、支援体制拡充が必要と考えるがどうか。

答／障害者手帳の取得に至らない、人と関わることに不安等を感じる相談者は全体の3分の2を占める。継続的な訪問や面接を通して、自立に向け一歩踏み出せるよう今後も支援していく。

問／相談に至らない、ひきこもりの方の把握は。

答／地域ケア推進会議等において、地域の支援者を増やし、把握に努めている。

問／ひきこもりの若者へ、インターネットなどを充実させて呼びかける考えは。

答／インターネットで福祉関係の情報を充実させていかなければならない。情報発信やチャンネルを広げる研究を進めていきたい。

問／それぞれに寄り添った支援のコーディネートが必要です。まずは悩み等、相談にのってくれる人がいる居場所作りが必要です。



「高齢者の暮らしの快適性向上」を問う



宮崎 朋子 (創風)

問／高齢者の免許返納の課題はどの家庭にもあるかもしれない。コロナ禍の令和3年12月末現在、上越警察署管内の65歳以上の免許返納者は前年よりも295人減ったと聞く。やるべきは、返納前の不安の調査や高齢者が気兼ねなく移動できる手段の構築と考える。交通事業者のドライバー不足も懸念される。今後は電車やバス、タクシー等を決済まで組み合わせるMa^asの実証実験にも取り組んでほしいがどうか。

答／令和4年度から安塚区と牧区で、インターネット予約対応型のコミュニティバスの実証実験を行う。Ma^asもいろいろなやり方があり、市民や交通事業者等の意見も聞きながら、地域特性にあった取組をしていきたい。

「まちをきれいにするため」のアプリの提案

問／田畑や道路脇のポイ捨てに困りの声を聞く。立て看板等の抑止に加え、より市民が楽しく参加できるごみ拾いアプリを活用しては。

答／市民や事業者には日頃からご協力をいただいている。アプリは拾ったごみの見える化により、情報共有や活動の広がりが図られ、不法投棄やポイ捨ての抑止、環境の美化につながる。個人やグループでアプリが活用されていることも踏まえ、当市の環境イベントや出前講座等の機会を捉えた紹介を検討していきたい。



市内中学校の校則の現状は
 小山 ようこ（創風）



問／昔からある校則や意味の分からない理不尽な校則等は見直すべきである。これからの校則については生徒や保護者を交えて議論し、生徒が主体の学校生活を作っていくべきではないか。

答／校則は、学校を取り巻く社会環境や生徒の状況の変化に応じて見直す必要があると考える。生徒や保護者を交えての議論やアンケートの活用など、各学校の自主性や独自性を尊重しながら、互いの取組について情報交換の場を設けたり、研修の機会を通じて啓発し合ったりするなど、全市的な取組として推進していく。

市内在住の高校生に対する支援を

問／県立高等学校の再編整備により、学校所在地の偏在が進んでいる。遠方から通学している生徒への通学費の負担軽減を県に対し働きかける考えはないか。

答／保護者の通学費負担の増といった課題も十分考慮した上で再編整備を進めるよう、機会を捉えて県へ要望していく。

問／高校生の資格等の取得に対する補助制度を再創設すべきと考えるがどうか。

答／高校生の資格取得を後押しすることは、高校生の就業意識の醸成や市内事業者の人材確保の促進につながる効果があると考えているので、制度再創設について検討していく。



広域観光とサイクルツーリズムの促進
 江口 修一（久比岐野）



問／アフターコロナの中、健康志向のスポーツとして、自転車を活用推進できないか。

答／静岡・山梨・長野・新潟の4県が連携し、太平洋から日本海に通じるサイクルルートづくり等に取り組みることにしており、当市も積極的に参画する。

問／「SEA TO SUMMIT」を、サイクルツーリズムの新たな観光コンテンツとして関東圏に広げて企画しては。

答／上越地域3市や佐渡市、県と連携し、変化に富んだ観光資源の結び付けやイベントの連携により、互いの観光振興の相乗効果を高める取組を進める。

企業版ふるさと納税PRに東京事務所活用を

問／東京事務所を活用し、企業版ふるさと納税をPRしては。

答／機会を捉えながら、様々な企業とのつながりやネットワークの構築に努め、企業版ふるさと納税の確保を図っていく。



佐渡市「佐渡金山」



妙高市「妙高山」



糸魚川市「弁天岩」



上越市「夕日とうみがたり」



带状疱疹ワクチンの周知と費用助成は
 山田 忠晴（公明党）



問／任意接種である带状疱疹ワクチン接種の広報や周知、費用助成を行う考えは。

答／平成30年6月の国の予防接種に関する検討会において、「期待される効果及び導入年齢に関し、更に検討していく必要がある、必要なデータがまとまったところで検討を再開する」とされて以降、審議は行われておらず、定期接種には至っていない。市として、他の任意接種と同様、現時点で接種に関する広報や周知、費用助成を行う考えは持ち合わせていない。

児童生徒のいじめや虐待の早期発見のために

問／児童生徒に対するアンケートや聞き取り面談の形式と内容を聞きたい。

答／アンケートの内容は、いじめの実態把握・早期発見のためのもの、生活上の困り感を把握するとともに虐待事案の早期発見につなげるもの、体罰に関するものがある。アンケートの形式は、項目を選択する設問や自由に記述する設問がある。回答したアンケート用紙は学級担任だけではなく、生徒指導主事や学年主任が確認し、その上で面談を通して状況を聞き取る。それを踏まえ、学校いじめ対策組織で検討し、虐待の疑いがあれば速やかに学校教育課をはじめ、すこやかなくらし包括支援センターや児童相談所等の関係機関と連携し対応している。

総括質疑

委員会審査

討論・請願

審議結果

一般質問



**冬の手洗いはお湯で
しっかり洗いたい！**
ストラットン恵美子(久比岐野)



問／新型コロナウイルス感染症対策のため、小中学校の手洗い場の温水化を検討すべきでは。

答／上越市立小中学校の手洗い場や、トイレ手洗い場の自動水洗化工事について、いずれもお湯が出る仕様とはなっていない。学校施設の老朽化に伴う改修工事が優先であり、温水化は当面見送らざるを得ないものと考えている。

市内の多頭飼育崩壊問題の現状は

問／福祉的背景を伴う多頭飼育崩壊問題では、行政と民間の愛護団体等を含む多機関連携が何より大切だが、上越市の現状はどうか。

答／県の上越動物保護管理センターが10頭以上の猫を引き取った「多頭引取り」は、令和元々3年度で5件、平成26、29年度には、1件当たり40頭以上の多頭飼育崩壊が発生した。広報上で動物愛護の特集を組み、不妊去勢手術や室内飼育の重要性等について、周知、啓発を図ってきた。今後も多頭飼育崩壊を未然に防ぐため、関係機関と連携し動物愛護に取り組む。

温泉施設維持のために入湯税で財源確保を

問／当市の入湯税の金額見直しの予定はあるか。
答／より多くの市民から健康増進や心身のリフレッシュ等で気軽に利用していただく政策的な判断から、現時点で税額は上げない考えである。



**「地域の宝」
どう取り組むのか**
本山 正人(みらい)



問／「地域の宝」は現在86件認定されており、今後が増えると思うが、どのように取り組んでいくのか。また、「宝」によっては市の財政支援が必要と考えるがどうか。

答／次世代を担う子どもたちへの継承を図り、地域への誇りや愛着を育んでいく。その創設趣旨から、財政支援については想定していないが、内容によっては別途支援するケースもあり得るため、その在り方について検討していく。

観光振興に関して中山間地域を含めた観光を

問／通年観光プロジェクトは「雁木町家や寺町の街並み」「楽しめるまち直江津」「春日山城を観光地に」を三本柱としているが、各区にも特色ある観光スポットがある。偏重なく回遊できるよう、力を入れるべきと考えるがどうか。
答／通年観光プロジェクトでは、揚げている三本柱で来訪者を受け入れる仕組みを整理していく。中山間地域においては茅葺集落かやぶきの整備を検討していきたい。

問／ウィズコロナ時代においては、「新しい観光」を考え、地域との関係性や取組の支援を強化すべきと考えるがどうか。
答／観光に対するニーズが「質」重視に変容している。オンライン体験等の新たな観光コンテンツを作り、国内外に発信し、誘客につなげたい。



**「協働」のまちづくりの
在り方は**
栗田 英明(政新クラブ)



問／市長は、目指すまちづくりの視点に「共創の推進」を掲げた。共創は、上越市の自治の基本原則である「協働」を進化させたものとのことであるが、違いは何か。

答／協働は、それぞれの主体が対等な立場で協力して働き公共的な目的を果たすことであるが、共創は初期段階から多様な主体が参画し、効果的な取組につなげようという考え方である。

地域協議会やまちづくり振興会等の協働は

問／地域協議会は「協働の要」と位置付けられているが、どんな役割が求められるか。また、「共創の推進」の中では何が求められるか。

答／地域協議会には、地域の課題や活性化などを話し合い、地域の団体等と連携調整して課題解決等を実現していく役割が期待されている。今後は地域自治の強化を図るため、「共創の推進」に資する在り方を検討していく。

問／協働・共創の行政のパートナーの一つとしてまちづくり振興会等の住民組織があるが、その組織強化や財政面の支援が必要ではないか。

答／それぞれの住民組織の活動や運営実態は多様であるが、活動の継続に向け、人材や財源確保が課題となっていることは認識している。今後の役割や支援の在り方についても、地域自治推進プロジェクトの中で検討していく。



生理痛、女子も男子も正しい知識が必要！
中土井 かおる（みらい）



問／生理痛は、将来の不妊症につながるリスクがあることを知らずに成長する思春期の子どもの多い。国では、早期の産婦人科受診へつなげる政策を打ち出したが、当市の中学校での生理痛への相談対応はどのように行っているか。

答／養護教諭を中心に個々の症状や心情を丁寧に聞き取り、必要に応じて産婦人科医への相談や治療につなげている。令和4年度から定期健康診断の保健調査票に、月経随伴症状等についても記入するように保護者に周知する。

「子育て全国」を目指して！



問／孤独・孤立予防の「子どもの居場所」づくりへの支援の取組は。

答／子ども食堂に対する運営協力や立上げ支援等、下支えを行っている。子ども・子育て支援全体の取組は、この度「子育てプロジェクト」として体系的に整理し、必要に応じて新たな課題に対応した事業を盛り込んでいく。

問／協力者のいない保護者が急に養育ができなくなった場合の対応はどうしたらよいのか。

答／県の児童相談所が施設を確保することになっており、市独自の短期支援事業は考えていないが、児童相談所と連携し、確実に養育環境を確保するよう対応している。緊急時の相談対応は、市も窓口になっていて周知に努めている。



屋根雪下ろし転落事故未然に防ぐ対策拡充を
渡邊 隆（久比岐野）



問／屋根雪下ろし命綱固定アンカー等設置費補助金の補助件数見込みは70件としているが、十分ではないのか。

答／令和4年度予算では令和3年度と同数を見込み、更なる普及啓発としてテレビCMなどを通じて補助件数の増加につなげる。

問／昨冬のような大雪災害においては、労働基準監督署が示す屋根雪下ろし作業の転落防止に係る基準に鑑みれば、雪下ろしボランティア・雪下ろし作業を業とする事業所が即応できないのが現状である。今冬は、業者に依頼するも転落防止対策を考慮し断られる事案もあつたと聞く。今後は、家屋の新築時などに、雪下ろし作業を必要とする建物においてはアンカー等の設置を義務付ける条例が必要と考えるがどうか。

答／条例による義務化については考えていないが、県と連携しながら、融雪、耐雪、落雪等に係る屋根雪対策の支援を進める。

消防団員の確保のため市民税減免を

問／消防団員の処遇改善として、消防庁通知による報酬の見直しを行ったが、崇高な任務を担う団員の処遇改善策として、市民税減免を講ずるべきでないか。

答／市民税減免は考えていないが、団員確保の新たな取組を研究していく。



公の施設の適正配置は市民の声を聞くべき
上野 公悦（日本共産党議員団）



問／市民いこいの家やろばた館については、存続に関する地域協議会での協議やアンケート、署名活動なども行われている。住民の声をどう捉えているか。施設を存続すべきではないか。

答／市民いこいの家については、地域協議会から「地域住民への利便性や周知の面から支障あり」との答申があつた。令和4年度は、現状のまま運営しながら協議を続けることとし、市長として自身も地域協議会に向いて皆さんの声を聞いていきたい。ろばた館についても、ろばた館の在り方に関する行政懇談会などの意見も踏まえ、引き続き協議を重ねていきたい。

問／採算性の問題もあるが、市民の利便性や福利厚生、地域活性化に資するものであれば、市民の声をしっかり聞いて存続することも大事だ。福祉施設で採算性が合っているものはない。大事なことは市民のためにどうするのか、福利厚生に役立つのか、地域活性化に役立つのか。採算性が合わなくても必要なものは必要だ。若い人が定着することも大事であるが、高齢者の方も安心して楽しく住める、そういうまちづくりも必要だ。

答／至上命題は人口を増やすことである。市民いこいの家やろばた館が存続することで人口は増えない。産業の活性化に力を入れるべきで、福祉関係の温浴施設は廃止に向かって進めたい。

総括質疑

委員会審査

討論・請願

審議結果

一般質問



**一般公営住宅入居世帯
への除排雪支援を**



問／一般公営住宅の除排雪作業について、市による一括管理又は入居者の負担分を助成すべきと考えるがどうか。

答／これまでの除雪方法を全て見直し、駐車場利用者からの負担分をいただくことを検討する必要があります。そのため、住宅管理人会議等を通じて意見交換を行っていく。



脱炭素社会の実現に向けて

問／市の脱炭素社会の実現に向けた取組について、明確なゴールとして、いつまでに何をどこまで達成させるのか、計画を聞きたい。

答／2050年までの脱炭素社会の実現に向け、再生可能エネルギー導入促進や電気自動車普及の普及に取り組み、温室効果ガス排出量の削減を図る。また、令和5年度から令和12年度を期間とする計画を策定し、国が掲げた目標の達成を目指す。あわせて最先端の取組事例を調査研究していく。

問／建物の屋根や農地における再エネ導入ポテンシャル調査を実施すべきと考えるがどうか。

答／環境への影響、環境と経済面での効果などを調査、分析し、事業化に向けた一つの取組であると認識している。今後、脱炭素プロジェクトを進める中で、調査の要否を検討していく。



市長の産業振興政策は



問／市長が「共創の推進」の視点の中で起業、創業、イノベーションを挙げる趣旨は何か。また、今後の産業振興政策は何をどうするのか。

答／「協働」を前に進め、連携を深め、新たな価値や魅力を共に創り上げ、人口減少を緩和する。「創業スタートアップ支援補助金」を創設し、市内商工団体等との二人三脚により創業者をサポートする。「中小企業等イノベーション推進補助金」で、変革意欲のある事業者に伴走型支援をする。「サテライトオフィス誘致支援業務等」で、首都圏などのオフィスを誘致する。市長自ら推進役になり積極的に進める。

「知・徳・体」を育む学校教育の推進は

問／経済や社会の変化に応じた学校教育の在り方と、標準学力検査の状況及び対策を聞きたい。

答／「生きる力」をしっかりと発揮できるように、また、主体的に学べるように取り組んでいる。学力向上は最重要課題で、授業改善、授業実践、学習環境づくり等の取組を進める。

問／過疎地域の学校教育をどう推進するか。適正配置、環境整備、部活動などとの関係は。

答／今後も地域の実情把握、細やかな分析に基づき、小規模校の良さをいかした活力ある学校づくりを支援し、一人一人に寄り添い、児童生徒がしっかりと学び成長できるよう取り組む。



**最終処分場選定は柿崎
区住民に寄り添って**



問／新潟県は、令和4年3月7日に産業廃棄物広域最終処分場候補地を柿崎区下中山、竹鼻地区内に絞り込むこととしたと発表したが、どのような経緯で2か所に絞り込まれたのか。

答／県は施設安全性、交通影響、農業への影響等の懸念を踏まえ、住民生活への影響を最小化する観点から比較評価を行い、相対的に優位と認められた2か所の候補地に絞り込みを行った。**問**／選定には周辺町内、漁協等の関係団体との合意が前提と思うが、合意はされているのか。

答／地元町内会のほかに農林漁業、観光等の関係団体、道路管理者、隣接市への説明も行われ、最終処分場の必要性は理解いただいたが、最終的な合意に向けて丁寧に進めていきたい。

問／今後の供用開始までのスケジュールは。

答／現状の2か所から絞り込みを行い1か所に決定して、令和13年度中の供用開始を目指す。

問／受入れ地への地域振興策はどうしていくか。

答／地域住民としっかり協議し、調整していく。**問**／県は最終処分場選定を調整するための分室を柿崎区に設けるとしているが、市としても専門に対応する職員を分室に派遣して、懇切丁寧

に市民に寄り添うべきと考えるがどうか。**答**／県は令和4年度中に柿崎区総合事務所内に分室を設けるとしている。市としても県と密に連携するために、分室に職員を1名派遣する。



平良木 哲也 (日本共産党議員団)

安心して暮らせる 医療提供体制を



問／安心して暮らすには、現在ある各病院が確実に維持されること、病院の統合や縮小再編はさせないことが必要だが、「ある程度の統合は必要」とした市長の発言の真意は何か。

答／病院自体の再編統合のことではなく、各病院が担っている医療機能の再編統合はやむを得ないとの認識を申し上げた。

問／医療機能の再編統合も、広い上越市の中で役割分担を無理矢理変えては大変である。

答／おそらく柿崎病院を心配していると思うが、同病院は地域の医療体制が非常に薄いとこのるので、もし無くすと言われれば知事を連れてきてでも、説得しなければいけないと考えている。

問／心強い答えだが、県による地域医療構想推進のためのグラウンドデザインでは、手術と救急は大病院に集約して、それ以外の病院では行わないとしている。そこで、柿崎病院は現状の機能をしっかりと維持するよう求めることをもう一度確認したい。

答／この部分については、県にしっかりと現場を見てもらわないうと分からないと思う。そこで、現状維持を貫くということ、県とは調整していきたいと思っ



高山 ゆう子 (みらい)

「子育て全国」の 保育環境の整備を



問／民営化が進む公立保育園の在り方や子どもを預ける保育環境は万全なのか。

答／民営化は保育園の機能や質の向上を図り、持続可能な保育環境の整備のため進めてきた。

問／昨今、兄弟が同じ公立保育園に通えない実情がある。「子育て全国」を目指すならばここから改善していただきたいがどうか。

答／保育園の定員によりご希望に添えない場合があるが対応していく。

移住・定住促進の取組状況は



問／当市における移住・定住促進の取組状況とコンシェルジュを配置した効果は。また、今後更に促進を進めるための市独自の戦略はあるか。

答／これまでワンストップ窓口を設け、コンシェルジュが対応しながら様々な取組を行ってきた。令和4年1月末の移住相談件数は190件、また、移住者数は83組129人で過去最多となった。



問／組織の連携が無いと今一つ取組が弱いと感じる。移住・定住こそプロジェクトにしてチームを組み、看板コンシェルジュも入れ、関連する民間会社等も一丸となり取り組むべきではないか。

答／8つのプロジェクトを連携させながら、地方回帰の潮流やデジタル化に対応し、当市を移住の地として選んでもらえるよう取組を進める。



安田 佳世 (久比岐野)

上越市の課題とは？ 地域の魅力の発信を！



問／市長は、上越市が今取り組まなければならない課題は何であると考えているか。

答／各地域がどういう魅力をもっているかを客観的に評価し直すことが大事だと考えている。

問／地域の魅力を見つけ出すためにどうするか。

答／外から移住してきた人たちの力を借りて、地域の良さを客観的に見ることで、改めて地域の魅力を見つめ直していく。

公約プロジェクトの今後の取組は

問／公約プロジェクトの具体的な内容やスケジュールが見えない。そこが示されないままに進むと、事業を実施する市職員や、事業に参画する地域や市民を巻き込んで大変な状況となることが予想される。内容やスケジュールを適切な時期に示すべきだと考えるがどうか。

答／改革を求めて、方向性を示さなくてはいけないが、プロジェクトは令和4年度から立ち上がる。これから市職員が集まって会議をしながら進めていき、市民や議員とも共有をしながらプロジェクトを更に膨らませ、発展させていきたい。

問／部局横断的な取組を効果的に進めるには。

答／異なる部局が集まって話し合うことである。異なる効果が生まれる。方向性を揃えて、今後取組を進めていきたい。



「核共有」論に対する市長の認識はどうか
橋爪 法一（日本共産党議員団）



問／ロシアのウクライナ侵略は断じて許されない。これを契機に政界の一部で「核共有」論が出ているが、市長の認識はどうか。

答／非核平和友好都市を宣言した自治体の長として、「核共有」は容認されるものではない。

問／核兵器禁止条約批准を政府に働きかけるべきと思うが、どうか。

答／「平和首長会議国内加盟会議」や「日本非核宣言自治体協議会」において、政府に対し条約の批准などを要請している。思いを共有する多くの自治体と連携しながら、引き続き、核兵器の廃絶に向け取り組んでいく。

問／中学生の広島訪問は重要である。平和記念式典が仮に中止されても被爆地を訪問してもらうことが大切だと思うが、市長の認識はどうか。

答／派遣事業の実施方法等の見直しに関しては、教育委員会、学校関係者との協議も含め、検討していきたい。



上越を世界最先端の克雪・利雪先進都市に！
滝沢 一成（政新クラブ）



問／「雪と生きること」これが上越市の宿命である。人が住む都市としては上越市が世界で一番雪が積もるといふ。どんなに雪が積もっても一人暮らしのお年寄りから企業まで心配不要の「克雪・利雪先進都市上越」をつくるのが夢だ。

答／雪国の安心安全の確保、雪による災害に備えた克雪対策と、産業や観光などに雪を利用する利雪を推進する。

問／現行の消融雪施設整備計画では加温式消雪パイプの新設工事が1件しか記載されていないことに、前市長は「緒についていくと考えるとほしい」つまりこの後に新設が続いていくという答弁をした。行政施策の継続性から当然その答弁は生きていると考えるがどうか。

答／既設消雪パイプの老朽化対策を含めた整備の優先順位を定め、財政計画との整合性を図りながら新たに1路線の新設を載せた。次期計画では、利用可能な水量や財政計画との整合性など様々な課題を整理して検討したい。

問／水量調査は完了しており、それぞれ要望がある路線の点数付けも終わっている。市民からの要望もすでに出尽くしており、あとは具体的に進める決意を市長がするだけだ。

答／登載すべき加温式消雪パイプの路線の具体的な検討を進めていく。



「政策協定」の重要性を軽視する中川市政！
宮越 馨（無所属）



問／政治の基本は「信なくば立たず」である。民主主義制度に基づき結んだ「政策協定」を市長は軽視したが、その真意を聞きたい。

答／議員の政治手法や財源確保の手腕を学びながら、まちづくりを進めたいと考えていた。政策については納得したものしかやらない。市長として自己決定自己責任において予算編成した。

問／政治の理念は、「困っている人を助ける」である。コロナ禍で困っている小規模零細事業者への特別支援金を給付すべきだと思うがどうか。

答／今後も随時感染拡大の状況把握に努め、状況に応じた必要な支援を機を逸せず実施していく。

問／子供年金制度のニーズ調査を令和3年12月定例会の一般質問で検討すると答弁したが何故予算化しなかったのか。他の子育てニーズ調査と合わせて行えば何ら問題はないではないか。

答／国や県の支援が定かでない中、将来の財政負担の増大が見込まれるため、制度の導入まで考えに至らず、関連するニーズ調査は見送った。

問／市長の政治姿勢は左翼革新と言われているが、上越市政は歴代保守政治を標榜してきた。私には保守改革派と言っていたが違うのか。

答／私は保守でも革新でもない。

問／過去、柏崎市に1年ほど滞在し、反原発運動をしていたと聞くが。

答／短い期間居たが、反原発運動はしていない。

令和4年6月定例会の予定

日	月	火	水	木	金	土
6/5	6	7	8	9	10	11
		本会議 統括質疑等	厚生 常任委員会	農政建設 常任委員会	文教経済 常任委員会	
12	13	14	15	16	17	18
	総務 常任委員会	本会議 一般質問				
19	20	21	22	23	24	25
		本会議 採決等				

※この日程は 予定であり、変更となる場合があります。正式には5月下旬に改めて決定し、市議会ホームページ等でご案内します。

本会議と委員会はインターネットで配信しています！



本会議や委員会では、市民生活に関わる重要な議題について、活発な議論が交わされます。その様子を生配信しているほか、過去の配信動画もご覧いただけます。



本会議の配信はこちら
上越市議会インターネット中継



委員会の配信はこちら
上越市議会YouTubeチャンネル

子育て中の皆さん！

議会を傍聴してみませんか？

市内在住の方が、小学校就学前のお子様を託児サービスに預けて議会を傍聴する場合に、その利用料金を助成します。



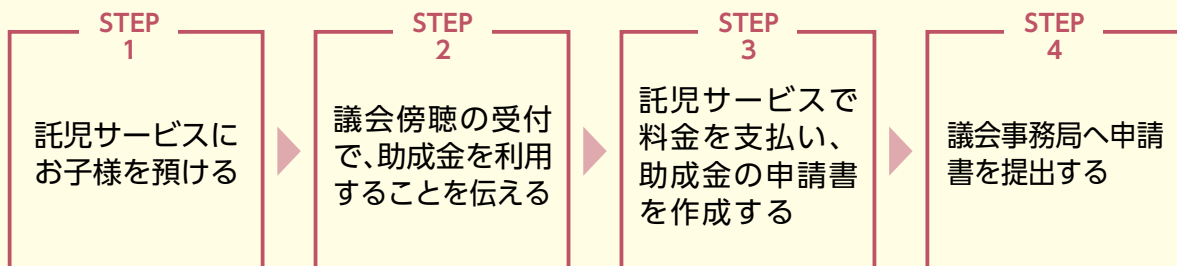
助成金額

お子様1人当たり（上限）
・3歳未満児 700円/日
・3歳以上児 500円/日

助成対象託児サービス

- ・ファミリーヘルプ保育園
- ・保育園での一時預かり
- ・オーレンプラザこどもセンター
- ・ファミリーサポートセンター

— 申請はとっても簡単！ —



制度の詳細や申請書のダウンロードなどは、右のQRコードからご覧ください。また、市議会ホームページの「傍聴・動画配信」からもご覧いただけます。



仕事帰りに！休日に！ご参加ください！ 議会報告会・意見交換会



発行日／令和4年4月25日
発行／上越市議会
編集／広報広聴委員会
責任者／議長 飯塚 義隆

5月8日(日) 午後6時30分～

ユートピアくびき希望館
(頸城区百間町716)

5月9日(月) 午後6時30分～

三和コミュニティプラザ
(三和区井ノ口444)

5月11日(水) 午後6時30分～

清里コミュニティプラザ
(清里区荒牧18)

5月12日(木) 午後6時30分～

高田城址公園オーレンプラザ
(本城町8-1)

- 3月定例会の審議内容等について報告するほか、参加者の皆さんから幅広く意見をお聴きします。
- 当日は、この議会だよりが資料となりますのでお持ちください。
- どなたでも、どの会場でもご参加いただけます。途中参加、途中退室も可能です。
- 新型コロナウイルス感染拡大防止のため、自宅にて検温いただき、体調の悪い方は参加をお控えください。また、マスクを着用してご参加ください。



編集後記

ロシアの軍事暴挙を見て、トルストイの「戦争と平和」を思い出しました。戦争のさなかでも、平和な時においても、一人ひとりの生活があり、人間は誰でも自由に幸福であるべきである。それを侵害できない。そんなことを痛感しながら、議会活動を通じて上越市の未来への「希望」の光を掲げ続けたいです。

広報広聴委員会副委員長 宮越 馨

Facebook 配信中!

本会議や委員会の開催など市議会の情報を発信しています。皆様からの「いいね!」をお待ちしております。



広報広聴委員会(◎は委員長、○は副委員長)

◎池田 尚江	○宮越 馨	安田 佳世
鈴木めぐみ	ストラットン恵美子	高橋 浩輔
中土井かおる	山田 忠晴	牧田 正樹
平良木哲也	飯塚 義隆	

